

製品名: FGF20 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00516**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 23 kDa; Observed MW: 23 kDa

抗原情報

遺伝子名	FGF20
別名	FGF20; Fibroblast growth factor 20; FGF-20
遺伝子 ID	26281
SwissProt ID	Q9NP95
免疫原	抗血清はヒト FGF20 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 151-200

背景

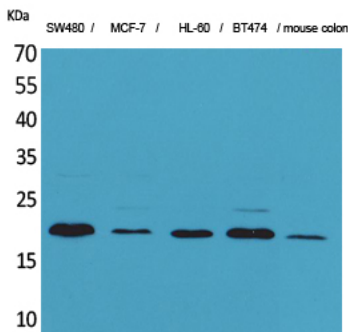
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、線維芽細胞増殖因子ファミリーの一員です。線維芽細胞増殖因子は、広範な細胞分

裂促進作用および細胞生存活性を有し、胚発生、細胞増殖、形態形成、組織修復、腫瘍の増殖および浸潤など、様々な生物学的プロセスに関与しています。この遺伝子産物は分泌型神経栄養因子ですが、典型的なシグナルペプチドを欠いています。正常な脳、特に小脳で発現し、中枢神経系の発達と機能を制御すると考えられています。このタンパク質のホモ二量体形成は、受容体結合活性と細胞外マトリックスにおける濃度勾配を制御することが示されています。この遺伝子の遺伝的変異は、パーキンソン病感受性と関連しています。

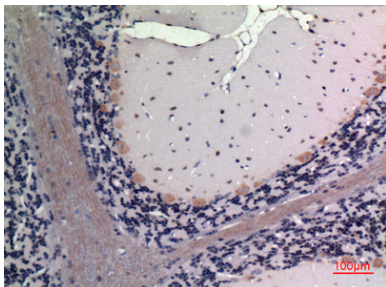
研究分野

シグナル伝達

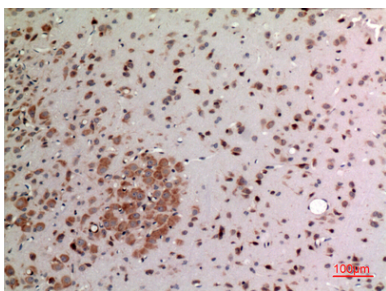
画像データ



FGF20 抗体を使用した、SW480、MCF-7、HL-60、BT474 マウス結腸溶解物中の FGF20 のウエスタンブロット分析。



FGF20 抗体を使用したパラフィン包埋ラット脳の免疫組織化学分析。抗原回復には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



FGF20 抗体を用いたパラフィン包埋ラット脳の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。